

令和3年度ひたちなか市立図書館事業評価

ひたちなか市立図書館では、平成27年2月13日付け図書館協議会答申「図書館のあり方」を受けて、平成27年度より図書館事業評価を実施しています。

この図書館評価の実施は、図書館法第7条の3・第7条の4及び平成24年12月文部科学省告示第172号「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」に基づくものです。

今回の評価は、32項目の指標により令和3年度実績について評価を行い、令和4年度の数値目標を設定しました。

評価にあたっては、令和3年度の目標達成結果について図書館が自己評価を行った後、館長の諮問機関である図書館協議会に評価をしていただきました。

今回の結果を受けて、よりよい図書館サービスを目指していきます。

各項目の評価については、達成度に応じて以下の評価とします。

評価	S	100%以上
評価	A	80%～99.9%
評価	B	70%～79.9%
評価	C	69.9%以下

ただし、項目「8 利用者満足度調査」の評価については、アンケート調査の集計に基づいており、実績値は100%を超えることはないため、以下の評価とします。

評価	S	80%以上
評価	A	70%～79.9%
評価	B	60%～69.9%
評価	C	59.9%以下

項目	区分	目標値及び実績値					
		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1 市民サービスに必要な資料の確保・環境整備							
①図書所蔵数	目標値(A)	467,390	476,670	480,330	487,000	486,500	490,000
	実績(B)	471,673	475,337	482,250	481,754	484,785	
	達成度(B/A)%	100.9%	99.7%	100.4%	98.9%	99.6%	
	評価	S	A	S	A	A	
②視聴覚資料所蔵点数	目標値(A)	15,140	15,480	15,880	15,900	14,900	15,000
	実績(B)	14,984	15,382	15,349	14,506	14,644	
	達成度(B/A)%	99.0%	99.4%	96.7%	91.2%	98.3%	
	評価	A	A	A	A	A	
③図書・雑誌貸出冊数(個人)	目標値(A)	806,957	806,950	806,950	807,000	680,000	740,000
	実績(B)	757,809	742,083	679,569	640,239	680,795	
	達成度(B/A)%	93.9%	92.0%	84.2%	79.3%	100.1%	
	評価	A	A	A	B	S	
④視聴覚資料貸出点数(個人)	目標値(A)	30,760	30,760	30,760	30,700	23,770	25,000
	実績(B)	27,514	25,280	23,765	21,133	23,427	
	達成度(B/A)%	89.4%	82.2%	77.3%	68.8%	98.6%	
	評価	A	A	B	C	A	
⑤リクエスト・予約冊数(受付件数)	目標値(A)	30,170	31,000	36,000	36,000	37,500	46,000
	実績(B)	30,617	35,006	34,749	37,528	41,897	
	達成度(B/A)%	101.5%	112.9%	96.5%	104.2%	111.7%	
	評価	S	S	A	S	S	

【実績の評価および今後の対応】

評価項目①図書所蔵数、②視聴覚資料所蔵点数については、令和3年度の実績値と令和4年度予算での購入予定冊数を踏まえて、令和4年度の目標値を設定しました。

評価項目③図書・雑誌貸出冊数、④視聴覚資料貸出点数については、コロナ禍の影響により落ち込んだ令和2年度よりは増加し、令和元年度と同程度まで回復しました。令和4年度は、平成30年度の実績値(端数切捨て)を目標値といたします。

評価項目⑤リクエスト・予約冊数については、コロナ禍のなか、令和2年度に実績値が前年度比約8%増となりましたが、令和3年度はこれをさらに上回る増加となりました。令和4年度についても、令和3年度の実績から約1割の増加を見込んで目標値を設定しました。

【図書館協議会からの意見等】

今後も収集方針に従いながら図書資料と視聴覚資料をバランスよく収集し、偏りのない蔵書に努められたい。

③図書・雑誌貸出冊数及び④視聴覚資料貸出点数については、コロナ禍前の貸出数を目標に利用促進に努められたい。

コロナ禍の影響によって増加したと思われる⑤リクエスト・予約冊数については、一時的な増加で終わらないよう、引き続き利用促進に努められたい。

項目	区分	目標値及び実績値					
		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
2 情報発信サービス							
①図書館ホームページ トップページアクセス件数	目標値(A)	120,000	120,000	210,000	300,000	275,000	300,000
	実績(B)	118,556	212,999	242,501	274,991	281,635	
	達成度(B/A)%	98.8%	177.5%	115.5%	91.7%	102.4%	
	評価	A	S	S	A	S	
②図書館ホームページ 図書館だよりアクセス件数	目標値(A)	3,600	3,600	3,600	4,300	5,000	4,500
	実績(B)	2,679	3,395	3,481	4,935	4,382	
	達成度(B/A)%	74.4%	94.3%	96.7%	114.8%	87.6%	
	評価	B	A	A	S	A	
③特集コーナーの設置件数	目標値(A)	130	130	150	160	160	160
	実績(B)	158	160	161	128	161	
	達成度(B/A)%	121.5%	123.1%	107.3%	80.0%	100.6%	
	評価	S	S	S	A	S	

【実績の評価および今後の対応】

評価項目①図書館ホームページのトップページアクセス件数については、新型コロナウイルスの流行に伴い、休館や利用制限に関する情報等を随時発信するなどしており、令和2年度からアクセス数が大幅に増加し、令和3年度も前年度を上回るアクセス数になったと考えております。令和4年度は図書館システムの更新に伴いホームページの利便性が向上しており、アクセス数の更なる増加を見込み目標値を設定しました。

評価項目②図書館だよりアクセス件数についても、令和2年度はアクセスが大幅に増加しましたが、令和3年度は減少となりました。しかし、コロナ禍前のアクセス数をかなり上回っている状況ですので、これを引き続き維持できるよう、令和4年度の目標値は令和3年度の実績を踏まえ設定しました。

図書館ホームページへのアクセスは毎年増加しております。今後も魅力的なホームページの作成に努めるとともに、イベントの案内など様々な情報を発信し、図書館の利用促進を図ってまいります。図書館だよりについても、引き続き内容の充実を図ってまいります。

評価項目③特集コーナーの設置件数については、令和2年度は新型コロナウイルスの影響や改修工事による休館等もあり減少しましたが、令和3年度はコロナ禍前の件数まで戻りました。令和4年度も引き続き前年度と同じ目標値に設定しました。

【図書館協議会からの意見等】

ホームページへのアクセスについては、新型コロナウイルスに関連する情報掲載だけでなく、ホームページが使いやすく予約もできるなど便利になっていることから、アクセス件数が大きく増加してきたと考えられる。令和4年度はシステム更新に伴ってホームページがさらに使いやすくリニューアルされたことから、今後もアクセス数が伸びていくことが期待される。特集コーナーについても、引き続き、読書案内としてコーナーの充実に努められたい。

項目	区分	目標値及び実績値					
		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
3 郷土資料の市民への情報提供							
①館内閲覧用郷土資料の所蔵数	目標値(A)	17,059	18,030	18,960	20,800	19,800	21,000
	実績(B)	17,532	18,269	18,733	19,284	20,514	
	達成度(B/A)%	102.8%	101.3%	98.8%	92.7%	103.6%	
	評価	S	S	A	A	S	
②貸出用郷土資料の所蔵数	目標値(A)	-	3,600	3,600	4,100	4,300	3,600
	実績(B)	2,973	3,418	3,710	3,991	3,340	
	達成度(B/A)%		94.9%	103.1%	97.3%	77.7%	
	評価		A	S	A	B	
③郷土資料の貸出件数	目標値(A)	-	1,800	2,600	2,600	2,250	2,250
	実績(B)	1,672	2,119	2,239	2,054	1,876	
	達成度(B/A)%		117.7%	86.1%	79.0%	83.4%	
	評価		S	A	B	A	

【実績の評価および今後の対応】

評価項目①館内閲覧用郷土資料の所蔵数については、年々所蔵数が増加しております。令和4年度も増加すると想定し、目標値を設定しました。

評価項目②貸出用郷土資料の所蔵数については、一部、貸出用から閲覧用へ区分を見直したことにより令和3年度は減少いたしました。令和4年度の目標値は令和3年度の実績値を踏まえ設定しました。

郷土資料については、今後も引き続き、積極的な収集に努め充実を図ってまいります。

評価項目③については、コロナ禍の影響により、貸出件数が減少した令和2年度に続き、減少となりました。令和4年度も令和3年度と同様に、コロナ禍前(令和元年度)の実績値(端数切上げ)を目標値とします。

【図書館協議会からの意見等】

郷土資料は地域を知るための重要な資料なので、今後も収集、保存に努めるとともに、利用につながるよう市民への情報発信に努められたい。

項目	区分	目標値及び実績値					
		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
4 障害者・高齢者へのサービス							
①大活字本の所蔵数	目標値(A)	4,249	4,240	4,240	4,200	4,200	4,000
	実績(B)	4,178	4,130	3,954	3,917	3,990	
	達成度(B/A)%	98.3%	97.4%	93.3%	93.3%	95.0%	
	評価	A	A	A	A	A	
②大活字本の貸出冊数	目標値(A)	5,802	5,800	5,800	5,800	5,800	5,800
	実績(B)	5,547	5,326	5,793	5,772	5,115	
	達成度(B/A)%	95.6%	91.8%	99.9%	99.5%	88.2%	
	評価	A	A	A	A	A	
③朗読CDの所蔵数	目標値(A)				-	1,250	1,250
	実績(B)				1,213	1,236	
	達成度(B/A)%					98.9%	
	評価					A	
④朗読CDの貸出点数	目標値(A)				-	680	680
	実績(B)				665	649	
	達成度(B/A)%					95.4%	
	評価					A	

【実績の評価および今後の対応】

評価項目①大活字本の所蔵数については、前年度から僅かに減少しました。大活字本については、近年の蔵書数の推移を踏まえ、当面は蔵書数4,000冊を目標とします。

評価項目②大活字本の貸出冊数については、佐野図書館が空調工事に伴い休館した影響により、貸出冊数が前年度から減少したものとされます。令和4年度も目標値はこれまでと同じとします。

評価項目③と④は、令和2年度まで宅配サービス件数を指標に使っておりましたが、コロナ禍の影響により利用実績がゼロとなったため、令和3年度から、新たな評価指標として、朗読CDの所蔵数及び貸出点数を設定しております。令和3年度は目標値に届かなかったため、令和4年度も目標値は同じとします。

今後も、障害者や高齢者向けのサービスや取り組みについての情報発信を行うなど、周知に努めてまいります。

【図書館協議会からの意見等】

障害者・高齢者のニーズを把握するとともに、提供しているサービスについてより一層の周知を図り、利用者の増加に努められたい。

項目	区分	目標値及び実績値					
		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
5 外国語資料貸出サービス							
①外国語資料の所蔵数	目標値(A)	1,590	1,630	2,040	2,400	2,320	2,400
	実績(B)	1,530	1,890	2,248	2,166	2,237	
	達成度(B/A)%	96.2%	116.0%	110.2%	90.3%	96.4%	
	評価	A	S	S	A	A	
②外国語資料の貸出冊数	目標値(A)	1,364	1,360	1,360	1,360	2,600	3,000
	実績(B)	1,170	1,318	2,466	2,574	2,736	
	達成度(B/A)%	85.8%	96.9%	181.3%	189.3%	105.2%	
	評価	A	A	S	S	S	

【実績の評価および今後の対応】

評価項目①外国語資料の所蔵数については、令和2年度は前年度から減少しましたが、令和3年度は前年度から増加いたしました。また、②外国語資料の貸出冊数については、年々増加してきており、令和3年度も前年度から増加しました。令和4年度の目標値はこれまでの実績を踏まえ、今後も増加すると見込んで設定いたしました。

外国語資料については、利用者ニーズや貸し出し状況を見ながら、資料の収集に努めてまいります。

【図書館協議会からの意見等】

引き続き、ニーズが高く利用の多い外国語資料を幅広く揃え、貸出数の増加につながるよう努められたい。

項目	区分	目標値及び実績値					
		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
6 一般向け行事・講座等の開催							
①行事・講座等の開催（回数）	目標値(A)	63	63	65	65	22	44
	実績(B)	61	67	55	0	29	
	達成度(B/A)%	96.8%	106.3%	84.6%	0.0%	131.8%	
	評価	A	S	A	C	S	
②行事・講座等の開催（参加人数）	目標値(A)	1,691	2,120	2,120	2,100	220	700
	実績(B)	2,123	1,844	1,985	0	332	
	達成度(B/A)%	125.5%	87.0%	93.6%	0.0%	150.9%	
	評価	S	A	A	C	S	

※講座回数・人数について、全6回の講座のときは、回数6、人数は各回の人数を計上しています。

【実績の評価および今後の対応】

評価項目①と②の行事・講座等の開催に関しては、コロナ禍の影響により、令和2年度は開催できませんでしたが、令和3年度は感染状況を見ながら、一部の行事・講座を開催いたしました。しかしながら、開催回数はコロナ禍前の半分程度にとどまり、参加人数は大変少ない状況となりました。

行事・講座の開催については、コロナ禍の影響を受けやすく、今後の状況も不透明であることから、令和4年度の目標値は①開催回数については、コロナ禍前の目標値の2/3程度、②参加人数については、コロナ禍前の目標値の1/3程度に設定いたしました。

今後も、感染症の状況を見ながら、できるだけ多くの行事や講座が開催できるよう取り組んでまいりますとともに、実施にあたっては、引き続き感染対策を十分に行うなど、参加者の方に安心して参加いただけるよう努めてまいります。

【図書館協議会からの意見等】

今後、感染症の状況を見ながら、タイムリーなテーマによる魅力的な行事を企画するとともに、広報にも努められたい。なお、引き続き、十分な感染症対策を図られたい。

項目	区分	目標値及び実績値					
		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
7 子ども読書推進 学校図書館との連携							
①学校図書館支援用の図書貸出（利用校）	目標値(A)	15	15	15	15	13	13
	実績(B)	10	7	9	7	8	
	達成度(B/A)%	66.7%	46.7%	60.0%	46.7%	61.5%	
	評価	C	C	C	C	C	
②学校図書館支援用の図書貸出（利用パック数）	目標値(A)	20	20	20	20	20	20
	実績(B)	18	9	17	12	16	
	達成度(B/A)%	90.0%	45.0%	85.0%	60.0%	80.0%	
	評価	A	C	A	C	A	
③小中学校・幼稚園・学童クラブ・読書推進団体への貸出件数(延件数)	目標値(A)	700	730	730	730	490	490
	実績(B)	736	569	489	250	294	
	達成度(B/A)%	105.1%	77.9%	67.0%	34.2%	60.0%	
	評価	S	B	C	C	C	
④小中学校・幼稚園・学童クラブ・読書推進団体への貸出冊数	目標値(A)	2,100	2,240	2,240	2,200	1,930	1,000
	実績(B)	2,242	1,711	1,927	1,402	764	
	達成度(B/A)%	106.8%	76.4%	86.0%	63.7%	39.6%	
	評価	S	B	A	C	C	
⑤行事・講座等の開催（回数）	目標値(A)	280	280	280	280	53	53
	実績(B)	280	245	212	2	31	
	達成度(B/A)%	100.0%	87.5%	75.7%	0.7%	58.5%	
	評価	S	A	B	C	C	
⑥行事・講座等の開催（参加人数）	目標値(A)	5,810	5,810	5,810	5,800	1,100	1,500
	実績(B)	5,790	5,336	4,406	37	1,489	
	達成度(B/A)%	99.7%	91.8%	75.8%	0.6%	135.4%	
	評価	A	A	B	C	S	

※講座回数、人数について全6回の講座のときは、回数6、人数は各回の人数を計上しています。

【実績の評価および今後の対応】

評価項目①と②の学校図書館支援用の図書貸出については、いずれも前年度より増加しましたが、目標値には届きませんでした。令和4年度も同じ目標値とし、引き続き利用促進に努めてまいります。

評価項目③と④の小中学校・幼稚園・学童クラブ・読書推進団体への貸出については、貸出件数は増えましたが、大口の利用(1回の貸出しで多くの本を借りる)が減ったため貸出冊数は大きく減少いたしました。貸出件数については令和4年度も昨年度と同じ目標値としますが、貸出冊数については昨年度の実績を踏まえ、目標値を設定しました。

評価項目⑤と⑥の行事・講座の開催については、令和2年度よりは増加しましたが、コロナ禍前の状況には戻っておりません。令和4年度の目標値は⑤開催回数は昨年度と同じとし、⑥参加人数は昨年度の実績値を踏まえ設定しました。

【図書館協議会からの意見等】

引き続き学校支援図書パックの事業の周知を今後も実施していくとともに、図書選書における学校教諭の協力や図書館と学校の共同研修の場など、学校との連携をより深めるよう努められたい。また中学校向けの図書パックの利用促進を図られたい。

読書推進団体に向けては絵本や物語だけではなく、社会科学、自然科学、言語など対応可能な分野で読み聞かせの働きかけをお願いしたい。また、子どもが本を好きになるよう、図書館側から積極的な働きかけを行っていただきたい。

項目	区分	目標値及び実績値					
		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
8 利用者満足度調査							
①図書館利用の総合的な満足度	目標値(A)	80%	80%	80%	80%	80%	80%
	実績(B)	73.3%	79.4%	91.1%	93.5%	87.6%	
	評価	A	A	S	S	S	
②図書・雑誌・新聞等の内容の満足度	目標値(A)	80%	80%	80%	80%	80%	80%
	実績(B)	79.5%	73.3%	75.6%	79.4%	70.3%	
	評価	A	A	A	A	A	
③ゆっくり時間を過ごす施設としての満足度	目標値(A)	80%	80%	80%	80%	80%	80%
	実績(B)	84.7%	85.4%	84.4%	86.7%	88.4%	
	評価	S	S	S	S	S	
④スタッフに対する満足度	目標値(A)	80%	80%	80%	80%	80%	80%
	実績(B)	95.9%	97.1%	98.2%	98.7%	98.1%	
	評価	S	S	S	S	S	

※図書館の利用度満足度調査は、令和3年12月に、中央図書館、佐野図書館、那珂湊図書館において利用者の方を対象に実施しました。実績については、図書館の満足度について「満足」、「ほぼ満足」と回答のあったものです。

【実績の評価および今後の対応】

各項目において概ね高い満足度を維持できておりますが、②図書・雑誌・新聞等の内容の満足度については、例年よりも少し低い結果となっております。これに関連しては、アンケート調査において、蔵書数や新聞・雑誌の種類を増やしてほしいというご意見を複数いただいております。

また、中央図書館については、アンケートにおいて、本棚や椅子を増やすことや閲覧スペース等の拡張を望む意見も見られていることから、今後も引き続き早期の建て替えに向け検討を進めてまいります。

今後も、図書館への要望や改善すべき点などを図書館運営に反映し、利用者満足度をさらに高められるよう、努めてまいります。

【図書館協議会からの意見等】

引き続き利用者サービスの向上に努め、高い満足度を維持できるような取り組みを期待する。

項目	区分	目標値及び実績値					
		29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
9 職員研修							
①研修の実施回数(市立図書館主催)	目標値(A)	-	16	16	16	16	16
	実績(B)	16	11	9	11	10	
	達成度(B/A)%		68.8%	56.3%	68.8%	62.5%	
	評価		C	C	C	C	
②研修の参加人数(市立図書館主催)	目標値(A)	-	120	80	120	100	120
	実績(B)	119	75	101	127	117	
	達成度(B/A)%		62.5%	126.3%	105.8%	117.0%	
	評価		C	S	S	S	
③研修への参加人数(県立図書館等の他機関開催の研修)	目標値(A)	-	120	120	120	140	240
	実績(B)	120	120	140	148	236	
	達成度(B/A)%		100.0%	116.7%	123.3%	168.6%	
	評価		S	S	S	S	

【実績の評価および今後の対応】

評価項目①研修の実施回数については、令和3年度もコロナ禍の影響があり、実施回数は目標値に達していませんが、②と③の参加人数については、目標値を超えております。特に③については、コロナ禍でのオンラインによる研修が増えたことにより、前年度から大きく増加しました。

令和4年度は、①研修の実施回数は前年度の目標値と同じとしましたが、②と③の参加人数の目標値については令和3年度の実績を踏まえ設定しました。

会計年度任用職員を含めた職員のスキルアップのため、今後も自館開催の研修を企画してまいります。また、県立図書館やその他機関が開催する研修に参加しやすい環境を整え、職員の積極的な参加を促すことにより、図書館サービスの向上等につなげてまいります。

【図書館協議会からの意見等】

図書館サービスの向上のため、引き続き市立図書館主催の研修内容の充実及び他機関開催の研修会への積極的な参加を図りたい。職員一人一人ができるだけ多くの研修に参加し、資質・能力の向上に努められたい。また、全国的な研修に参加するための予算の確保にも配慮願いたい。